令和５年度バリアフリーフェスタについて

１　目的

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議（以下「県民会議」という。）では、障がい者、高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方などが安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に参加できる街づくりを進めている。

　その一環として、県内の障がい者等の関係団体や事業者・ＮＰＯ団体、県民からの公募委員、行政の協働により、「バリアフリーフェスタかながわ」（以下「フェスタ」という。）を年１回、開催している。

　１～４回目は相模原市内の商業施設（ヨーカドー）、５回目は横浜市内の大学構内施設（慶応義塾大学内）で開催し、直近の６～８回目は横浜市内の商業施設（そごう）で介護フェアと同時に開催した。

　このフェスタは、県民会議内に設置された実行委員会が企画・立案したもので、その目的は、県民会議が取りまとめた提案書を広く県民に周知するとともに、バリアフリーの街を体感していただき、バリアフリーの街づくりに対する理解を深めていただくことにある。

〔企画・立案に当たっての考え方〕

* 県民会議の理念に基づき、県民・事業者・行政が協働で実施する。
* 継続的にフェスタが開催できるよう、持続的かつ安定的な開催形態を意識して準備を進める。
* 県民から広く意見を募るよう、開催会場は誰もが自由に参加できるような場を設定する。
* 当事者団体・事業者団体からの参加を積極的に促す。
* 県民から多くの意見をもらえる形式とする。
* 来場者が気軽・身近に感じられる参加型・体験型の内容を中心としつつ、来場者が「大変だね」「かわいそう」では終わらない、バリアフリーの必要性、支えあいの心を自然と身につけるものとする。
* ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、来場者の誰もが安全・安心に参加できるように配慮したイベントとする。
* フェスタ全体で統一的なテーマを設定して、各団体のコーナー運営に取り入れる。
* 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえて、消毒や、密にならないコーナー人員数など、感染症対策をしっかり行った上で安全に実施する。
* 何が障害を作り出しているのか、自分達に実際にできることは何か、など気づきを与えられるような工夫を各コーナーや事務局コーナーなどで行えるよう、意識して工夫を図る。

２　令和５年度の開催について（案）

（１）日時

令和５年11月４日（土）　11：30～17：00

（２）場所

横浜新都市ビル（そごう横浜店）９階センタープラザ、新都市ホール、

新都市ホールホワイエ（横浜市西区高島2-18-1）

（仮）新都市プラザ（そごう横浜店地下２階正面入口前）

※介護フェアと同時開催

（３）テーマ（今後、実行委員会で決定）

・　県民に分かりやすく、伝えやすいものとする。

・　バリアフリーフェスタ出展・県民会議構成各団体が共通認識として持つことができるものとする。

・　各団体のコーナー内容に無理なく取り入れやすいものとする。

（４）今後のスケジュール（案）

　令和５年４～６月　　出展団体募集（参加意向の確認）

　令和５年５～６月　　第1回実行委員会開催

令和５年８月　　　　第２回実行委員会開催

　　令和５年10月　　　 第３回実行委員会開催

令和５年11月４日　 バリアフリーフェスタ開催

（５）2022開催を踏まえた対応の方向性、その他留意事項など

ア　前回会議での整理概要 ※詳細は参考資料１(R4.12.16第22回県民会議資料１項目４)参照

(ｱ) 目的・考え方、開催場所

…商業施設等での開催で、バリアフリーになじみの薄い方や若者にも

参加してもらえるよう当日の周知等を工夫

(ｲ) 集客・周知

　　　…当日の効果的な集客方法、参加団体連携による周知、ＰＴ活動、専

門学校との連携等の検討

(ｳ) 事前準備

　　　…チラシやＨＰ等の準備を早めに行えるよう調整

(ｴ) 運営体制

　　　…ステージイベントの時間帯やコーナー工夫等の検討

(ｵ) 同時開催

　　　…引き続き同時開催としさらなる連携を検討

(ｶ) 良かった企画や工夫

　　　…体験型の企画が好評であり引き続き努めていく

イ　その他

　　　・　新都市プラザ（そごう横浜店地下２階正面入口前）も使える可能性がある。

　　　　　但し、面積がさほど大きくなく（約100㎡）、備品等はないこと、会場を借りる以上の新たな費用捻出は困難という条件もあるが、上記諸検討と合わせ、このスペースの活用検討を予定